

事業所名 児童発達支援センターなないろハウス

公表:令和 6年 5月 1日

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改善 目標
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	3		人数や用途に応じて部屋の使い分けを行っている。	曜日によってはホールで密集したり、個別室が足りないことがあるため、時間をずらしたり、グループの部屋を借りて対応している。
	② 職員の配置数は適切であるか	5	3		グループ療育の際に、1対1対応ができないこともあり、療法士が入るなどして対応している。	もう少し職員がいれば送迎や訪問に人員を割くことができる。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	3			室内や外は配慮がされているが、玄関にスロープがない。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6	2		朝のミーティングや職員会を行い、業務改善のための話し合いの場を設けている。	
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	1		保護者にアンケートを実施し、その保護者の意向を職員で把握している。	
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8			ホームページで公開している。	
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2		6		現時点では受けていないが今後は実施予定。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8			他事業所への見学と諫早こども医療に行き見学をさせて頂いたり、こちらに來所して頂いて技術支援を受けている。また、各職種で個別にオンライン研修を受けている。	
適切な 支援の 提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8			契約時の面談や個人票、アセスメント表を活用して保護者のニーズを確認し、それに沿ってサービス計画を作成している。定期的に保護者とのモニタリングを行っている。	
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8			保護者の要望や施設からの提案で標準化されたアセスメントツールを使って評価を行っている。	
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	1	1	個別は担当のスタッフが立案し、活動時の様子を共有するようにしている。グループにおいてはチームで話し合い、リーダーがプログラムの立案をしている。	
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8			前回の活動内容を確認し、同じ内容の活動が続かないように工夫している。様々な分野の活動を取り入れている。	
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	2		長期休暇中は子どもが落ち着いて過ごせるように子供が発散できるような活動を考えたり、お楽しみ活動を行っている。平日と長期休暇では宿題の量も異なるため、子供のニーズに応じて活動を行っている。	
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	8			保護者のニーズに応じて個別・グループを組み合わせそれぞれの支援計画を作成している。	

関係機関や保護者との連携	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	2		事前ミーティングを行い、内容やサブの役割を職員間で共有している。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	1		事後ミーティングを行い、変更した方がいいところ・危険なところがあったか、次回の療育に活かせることがないかなどを話し合っている。個別については、変わった様子があれば共有するようにしている	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8			HUGを活用して子供の様子や活動内容・支援について記録をしている。記録がその日のうちに終わらないこともある。	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8			年2回モニタリングを行い、支援計画の見直しを行っている。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	7	1		集団活動や創作活動、日常生活訓練に取り組んでいる。子供たちがたくさん遊びを経験できるよう、または創作意欲が湧くような工夫をしている。	
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8			施設長や担当職員が参加している。	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	7	1		送迎時間が記されたカレンダーを学校や学童にお渡ししている。各学校と密に連絡をとり、子供たちの安全を図っている。急な変更の場合は学校や学童に直接連絡をしている。	下校時刻表をもらって動いているが、学校側の急な変更について連絡がないことがあり、送迎が遅れることがあった。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	1	6		医療的ケア児は利用していないが、体制は整っている。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5		3	やまだこども園、にこにこ学童と進級・就学に基づいて情報共有を行う。	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	1	5		
関係機関や保護者との連携	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7		1	諫早こども医療の技術支援を受けている。	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	1	6		未実施。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	8			事業所連絡会等に施設長が参加している。	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	2		送迎に来られる保護者に関しては直接伝えている。HUGを活用して療育の様子や今後の課題について伝えているが、記録を見ない保護者もいる。	
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	4	3	保護者の子育ての気持ちに寄り添い、子供たちの対応法をお伝えしている。個別であればOAREを実施できる体制はあるが、まだ実施していない。	

保護者への説明責任等	⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8			契約時または契約更新時に施設長が説明している。	
	⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8			相談があった時に各職種からアドバイスや助言を行ったり、必要に応じて資料等の配布や本の紹介をしている。子育ての悩みを共有して支援方法をお伝えする。保護者との面談や茶話会を行って相談できる機会を設けている。	
	⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	7		1	茶話会を開催している。	
	⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8			苦情対応の窓口は設置している。全職員で共有し、適切に対応している。	
	⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8			毎月なないろだよりを発行している。ビジネスLINEで連絡や行事の報告を行っている。	
	⑮	個人情報に十分注意しているか	8			個人ファイルを作り情報管理に努めている。施設外に持ち出さないように徹底している。	
	⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	1		子供や保護者の意見をしっかりと傾聴し、それぞれの子供・保護者に伝え方の工夫を行っている。	
	⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	2	5	各施設見学会に来ていただき説明会を行っている。	
非常時等の対応	⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	2		マニュアルの策定を行い、職員間では情報共有を行う。	保護者への周知は徹底できていない。
	⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8			年2回避難訓練を実施。避難経路について改善点を話し合う。	
	⑳	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8			研修を受けた職員からの伝達研修を行う。来年度は全体(法人)研修実施予定。	
	㉑	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	2	2		今年度は記載していなかったため、来年度から個別支援計画に記載予定。
	㉒	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	2	4	おやつを提供してる児童の中には該当者はいないが、今後も必ず利用開始時に確認を行っていく。	
	㉓	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8			毎朝のミーティングで共有、その後KYTトレーニングを行う。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。